

Carrier Voice 職員の声

Q 仕事のやりがいは？

A 国造りを担う人材育成が醍醐味

留学生受入支援事業では、途上国の若手官僚が日本に留学し大学院で学位を取得する支援を行っています。いずれも将来の母国を支える人材でいわば国造りの“礎”を担う人たち。帰国後、大臣や局長などへの昇進事例も報告され、この仕事の醍醐味を感じます。日本の国益にもつながります。

Q 今後の目標は？

A 人材育成を「線」でつなぐ

人材育成を点で終わらせるのではなく「線」でつないでいきたい。そのためにはJICE職員的能力強化も大切です。今の仕事の先に何をにつなげるか、一人一人考えていくことが必要だと思います。キャリアコンサルタントの資格も生かし、外と内で貢献していきたいです。



人材育成を点から線へ
そして内と外で展開したい

留学生事業第一部
中澤 奈央 さん
Nakazawa Nao

Q この団体を選んだ理由は？

A 人を育てる仕事がしたかった

大学院時代に多くの途上国留学生と触れ合う中で、彼らの母国が抱える貧困や教育格差など、さまざまな問題を知りました。その解決を目指して日本で学ぶ彼らを応援したいと思うようになり、それを叶えることができる職場はここしかありませんでした。

Q やっておいでよかったことは？

A 米国留学で国際関係学を勉強

大学は文学部英文科。ボランティア活動を契機に国際協力に関心を持ち、米国留学を決意。約1年間、国際関係学を勉強しました。英語力の向上はもちろん、多様な考え方に触れられたこと、歴史を学べたことなど貴重な1年となり、大学院進学へとつながりました。

Q 持っている・取りたい資格は？

A 国家資格キャリアコンサルタント

最初に配属された研修事業部多文化共生課(当時)で定住外国人の就労支援に携わり、日本語の習得と彼らのキャリアをサポート。この仕事に少しでも役立てるために「キャリアコンサルタント」という国家資格を取得しました。定住外国人や留学生支援に生かしたいと考えています。

Career Path キャリアパス



21歳

大学の専攻と国際協力にミスマッチを感じたため米国留学(約1年)を決断。国際関係論を専攻

23歳

国際大学大学院入学。開発経済学を専攻。留学生と寮生活。考え方の違いなどを知る機会となる

26歳

JICE入団。定住外国人向け就労支援に従事した後、ASEANや途上国の訪日公務員研修に従事

現在

若手行政官の留学生受入事業に従事。来日後の研修プログラム運営や担当国のリーダーを務める



JICE本部で執務にあたる



人材育成奨学計画で来日した途上国の若手行政官たち

成長遂げる「人材育成のプロ集団」

「人材育成のプロ集団」をモットーとする日本国際協力センター(JICE)は、2023年3月に設立46周年を迎え、日本と諸外国との互恵関係の強化につながる人材育成事業のさらなる拡充に邁進している。設立当初は、開発途上国の人材育成事業を主要な業務にしていたが、その後、専門性を生かす領域を徐々に拡大。現在は①留学生受入支援、②国際研修、③国際交流、④多文化共生の各事業に軸足を据え、対象地域も先進国・途上国の別を問わず、世界規模だ。

各事業の展開にあたっては、事前の調査から企画、コンサルテーション、実施・運営、さらに評価までを一体管理しており、支援効果の最大化を目指して、これまでに培ったノウハウを注ぎ込んでいる。

近年は、将来の国造りを担う途上国の若手行政官らを対象とした留学生受入支援、また定住外国人向けの日本語研修と就労支援などが注目を集めており、人材育成分野の国際協力を行う専門機関として存在感を高めている。

Organization Info 組織情報

▶得意な事業分野

- ・留学生受入支援
- ・国際研修
- ・国際交流
- ・多文化共生
- ・プロジェクト支援

▶インターン

会社説明会およびOB・OG面談
4月頃実施予定

▶応募資格

新卒採用有
中途採用有(学士以上、年齢不問)

▶得意な地域

アジア
中東
北米
アフリカ
欧州



設立：1977年3月
資本金：10億円
従業員：339人(2023年4月現在)
本社：東京都新宿区
Tel：03-6838-2703(人事部)
Mail：saiyo@jice.org



知をつなぐ、夢をつなぐ、未来をつなぐ。
JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION CENTER



一般財団法人日本国際協力センター

#働く